

マチイロ
アプリ「マチイロ」で
県のたよりが読めます!
QRコード
iOS版 Android版



横浜美術館館長
蔵屋美香さん
Kuraya Mika

千葉県生まれ。女子美術大学芸術学部絵画科洋画(油絵)専攻卒業、千葉大学大学院教育学専攻修士課程修了。東京国立近代美術館に勤務し、主任研究員、美術課長、企画課長を務める。2020年4月、横浜美術館館長に就任。

2月8日にいよいよ全館オープンする横浜美術館。記念展第1弾は、アートを通して新しい横浜の歴史をつくる「おかえり、ヨコハマ」展だ。新たな美術館の舵取りを担うのは2020年、6代目館長に就任した蔵屋美香さん。「よそ者」の視点で新しい風を美術館に吹き込む。

横浜の歴史を浮かび上がらせようという試みです。

私自身は千葉で生まれ育ち、東京の美術館に長く勤めていたので、横浜とは5年前から密接に関わりだした形ですが、知れば知るほどすごく面白いまちだと感じています。国際貿易港なので、地域の歴史を掘り下げていくと、世界的な問題につながっていくんです。

また、よそ者の私が横浜を語ってしまっているのかもしれないと自問する部分があったのですが、横浜の歴史をみると、開港した時は小さな村だったのに、明治半ばには10万人規模になって、今や376万人と、びっくりするくらいの人口に膨れ上がっている。日本各地から人が移り住んでできたまちとも言えるわけで、よそ者の私が新鮮な目で横浜を語ってみるということも許される隙間があるんじゃないかと思っています。

そのほか、皆さんお待ちかねのピカソやセザンヌ、マグリット、奈良美智さんなど、有名作品はほぼ出します。これも脇役の視点から考えるという新しい切り口で紹介するので、楽しみにしてください。

美術館の役割

私は、誰でも仕事や生活のほかに夢中になれるものが、人生には必要だと思っています。それは美術でなくてもいい。ただ、誰もが何か一つはそういうものを持っているほしい。その中で、美術館は美術がいいなと思う人のためにあるんです。美術館にある作品は何十年も前の他人がつくったものですが、作品を通して時代を超えて他者とコミュニケーションができるわけですね。そんな体験ができる場所はなかなかないと思うんです。

これからぜひ取り組みたいと思っているのが、この美術館にあるアトリエをもっと活用すること。子どものアトリエと、版画や焼き物などができる市民のアトリエがあるんです。美術は苦手でもよくわからないという方もいらっやいますが、何か自分で作品をつくってみると、他人の作品を見る時の解像度がぐんと上がりますよ。これだけの設備を備えた美術館はめったにないので、面白い企画を考えていきたいと思っています。

もっと気軽に美術館へ

2021年3月から2024年3月まで閉館して大規模改修工事を行いました。空調設備の刷新のほか、検討プロジェクトを立ち上げ新しい美術館の姿について考えました。

この建物が建てられた経緯を調べていくと、フリースペースが大きいことが特徴だとわかったんです。エントランスの「グランドギャラリー」や展示室と展示室の間の休憩スペースが、美術館の規模に対して意識的に広くとられている。人々が、前にある広場の延長として美術館の中を行き来して、のんびりしたりおしゃべりしたりできるようにと、設計した丹下健三が考えたからなんです。これを目に見える形で表現しようと、「グランドギャラリー」にオリジナルデザインの椅子やテーブルをたくさん並べることになりました。広場に続くポーチにも椅子を並べて、ひと続きの空間を演出します。館内のサ

インも誰もが理解しやすいデザインに一新しました。

この4年間、工事やコロナ禍でお客さまがいない状況で運営してきて、「やはり美術館にはお客さまがいないと駄目なんだ」ということを実感しました。お客さまからのレスポンスがないと、職員も仕事の方向を見失ってしまうんです。2月8日に全館オープンしますが、お客さまからご感想やご意見をいただいて軌道修正しながら、この美術館を一緒につくっていかれたらと思います。

奥深く、懐深いまち

リニューアルオープン記念展では「横浜」をキーワードに、美術館のコレクションに立ち返ります。市の美術館らしく、正面から「横浜」に取り組みました。とはいえ、ただ横浜を取り上げるのではなく、歴史の中で今まで脇役だった人たちに光を当て、新たな

記念展「おかえり、ヨコハマ」

今回、県や市の歴史博物館や開港資料館ほか、横浜市内にある施設にご協力をいただき、そちらが所蔵する作品や資料と一緒に展示します。当美術館の歴史で初めて土偶と埴輪が並ぶことになりました。

また、昭和の戦前に活躍した洋画家、松本竣介の『Y市の橋』。シリーズで何作かあるのですが、各所から可能な限り集めて展示します。Y市というのは横浜のことで、この絵に描かれた橋は今も横浜駅きた東口付近に残っているんです。周囲の建物は全部変わって、橋も戦災で焼け復元したものになっているんですが、よくぞ同じ場所に残ってくれたと感動しました。横浜は意外なところに昔ながらの骨格が残っていて、この記念展で一つひとつたどって調べたのはとても楽しい作業でした。

横浜美術館 リニューアルオープン記念展 「おかえり、ヨコハマ」

2月8日(土)~6月2日(月)
10時~18時(入館17時30分まで)
木曜(祝日を除く)、3月21日(金)休館
横浜美術館
一般1,800円、大学生1,500円、
中・高校生900円、
小学生以下無料
☎045(221)0300



初心者対象 手結びのきもの着付教室

通常全8回 12,000円 (1回1,500円×8回) → 受講料 0円

◆カリキュラム◆

ゆかたの着方と半幅帯、普段着の着方、名古屋帯のお太鼓結び、フォーマルの着方、袋帯の二重太鼓結び(全て手結びで行います)
※着物、長襦袢、帯の貸し出し有り(全8回3,500円)

◆開講要項◆

期間/週1回の2ヶ月(応募者には開講日の1週間前に受講券を送付)
定員/各時間5名
受講料/無料 ※但し教材費として期間中6,900円(税込)必要

教室	2月生		3月生		4月生		時間	会場
	コース	開講日	コース	開講日	コース	開講日		
横浜	月曜	2/10	金曜	3/14	水曜	4/16	A・B・C	横浜駅西口 歩4分
銀座	金曜	2/21	水曜	3/12	月曜	4/14	A・B・C	有楽町駅銀座口 歩5分
新宿	火曜	2/18	金曜	3/14	水曜	4/16	A・B・C	新宿駅西口 歩5分
池袋	火曜	2/18	金曜	3/14	月曜	4/14	A・B・C	池袋駅西口 歩4分

A(10:30~12:00)/B(14:00~15:30)/C(19:00~20:30)

彩きもの学院
お申し込みは「ヨコハマよみうり」係へ

<https://www.saikimonogakuin.co.jp/>

☎0120-073005

